

## 令和4年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
		国語	数学	理科	国語	数学	理科
3年	学校	98	61	42	43	5.9	13.0
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2
22.4.19	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8
							3.4

# 令和4年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 調査結果から

### 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国を100とした時の標準化得点について、国語96、数学96、理97であり、全てにおいて、全国平均を下回った。また、平均無回答率については、全てにおいて、全国平均を上回り、悪い結果である。

#### ※分析から見えてきた成果・課題

##### 教科に関する調査より

【国語】「書くこと」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の全てにおいて課題がある。

(考察)・今回の平均正答率が全国的に高く、本校においても平均正答率が60%を超えた。また、10問以上の正答者が47人であった。一方、短答式・記述式の設問に対しての無解答率が20%を上回った。・「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す」や「表現の技法について理解する」などに課題がみられた。・『漢字』に関する問題については、おおむね理解することができている。

(成果)学年を受け持った2年生より取り組んでいる、漢字学習プリントでの添削や、漢字小テストや単元終了後の確認テストの成果がみられたのではないかと考える。

(課題)「表現技法について理解する」問題では『比喩』を問う問題であった。2年生の単元で、繰り返し学習した項目であったが、定着をしていなかった。

【数学】「数と式」「関数」「図形」「データの活用」の全てにおいて課題がある。学習指導要領の領域のうち「数と式」と「図形」の平均正答率が大阪府と比べて10ポイント以上低くなっている。「数と式」が低い結果から基礎基本が定着していない生徒が少なくないことがわかる。また、「数と式」と「図形」の問題のうちでも証明問題の正答率が低いことが目立つ。

【理科】「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全てにおいて課題がある。

今回の設問では、「エネルギー・地球を柱とする領域」の正答率が30%台であった。本校生徒にとって、普段から苦手意識が高い領域であり、【力(重力)】の問題では、正答率が6.1%と非常に低かった。選択式の問題でも、正しく説明されているものを選ぶや、組み合わせを考えるなど、一問一答形式でないものの正答率が低かった。さらに、正答数分布グラフを見ると、平均点あたりの7~10問がかなり伸び悩んでいることがわかる。7~10点の層を引き上げることができれば、学年としての平均点が向上することが見込まれる。

##### 生徒質問紙調査より

「家で、自分で計画を立てて勉強している」(質問紙20)生徒の割合が全国と比べて低い。

一方、「自分には、よいところがありますか」(質問紙7)、「将来の夢や目標を持っていますか」(質問紙9)の割合は、全国と比べて高い。

【今後に向けて】学力向上をしていくために、すべての教科の基礎である「読解力」を向上させていく方法がある。本校では、2022年度4月から、朝学活時に読売新聞社発行の「よむYOMUワークシート」を活用し、「読解力」向上を目指している。学力調査実施時は、4月ということもあり、その効果が出ていない。今年度末まで実施し、学力向上につなげていきたい。

【国語】定期テストにおいて毎回短作文を出題しているが、苦手意識が先行するのか、無解答生徒が一定数存在している。学年の取り組みとして、毎日「3行日記」や新聞の読み取り学習を実施していることから、生徒の「書くこと」に対する抵抗感が無くなっている。友達の文章を読んだり、自分の文章を読んでもらったり発表をする場を設けることで、自分の意見や考えを広げ、思考力や判断力が向上する指導を続けたい。

【数学】3年生は基礎クラス、標準クラス、発展クラスと完全習熟度別授業を行っている。その中でも基礎クラス、標準クラスは徹底して基礎基本を理解させる必要がある。そのために問題の選別、確認テストの実施を生徒の実情に合わせて行なわなければならない。また、どのクラスも共通して対策しなければいけないのは証明問題である。理論的に順序立てて証明文を書く指導を細かく丁寧に行っていかなければならない。

今回の結果をふまえて、習熟度別授業の在り方も検討していきたいと考える。

【理科】全体として、記述式の正答率が著しく低いことがいえる。これを改善するためには、「問題を読み解く力」と「考えを表現する力」を養っていく必要がある。授業の中でも、答えを導くことや文を読み解くことを苦手とする生徒も少なくない。暗記するのではなく、実験や観察を通して解答を導くための方法を指導していく。

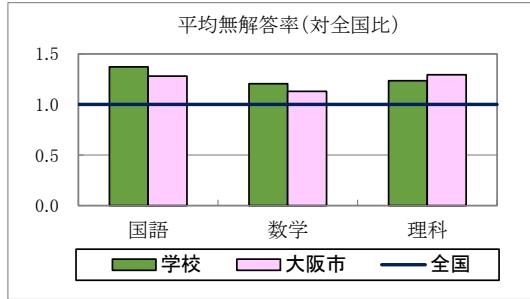
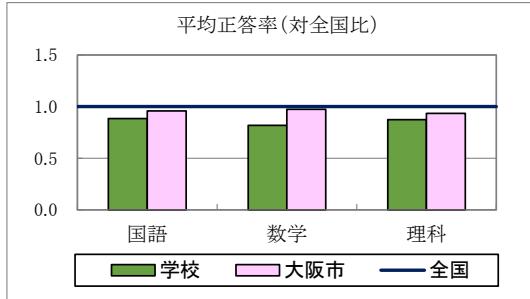
令和4年度 東生野中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	61	42	43
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

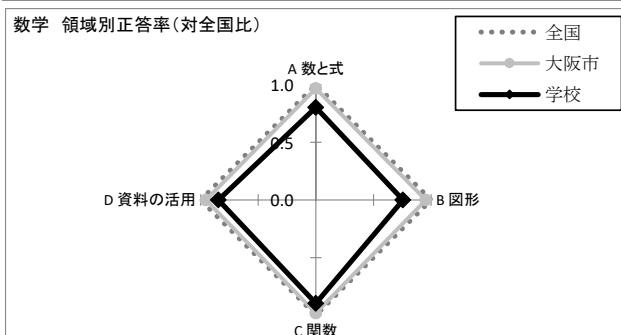
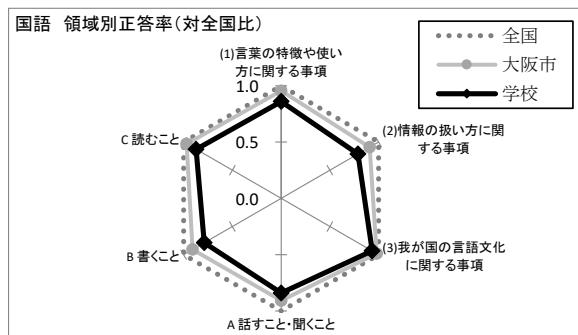
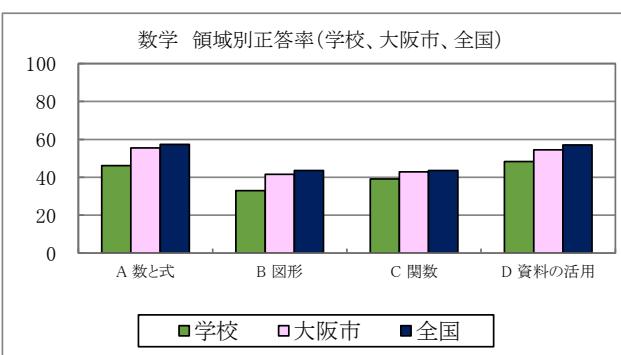
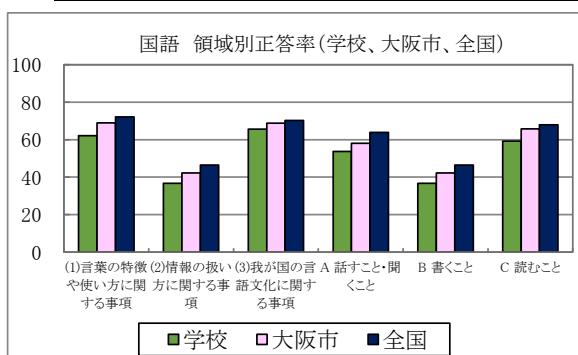
平均無解答率(%)		
国語	数学	理科
5.9	13.0	4.2
5.5	12.2	4.4
4.3	10.8	3.4



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	62.1	69.0	72.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	36.7	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化に関する事項	3	65.6	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	53.7	58.0	63.9
B 書くこと	1	36.7	42.2	46.5
C 読むこと	2	59.2	65.8	67.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	46.1	55.5	57.4
B 図形	3	33.0	41.6	43.6
C 関数	3	39.1	42.8	43.6
D データの活用	3	48.3	54.5	57.1

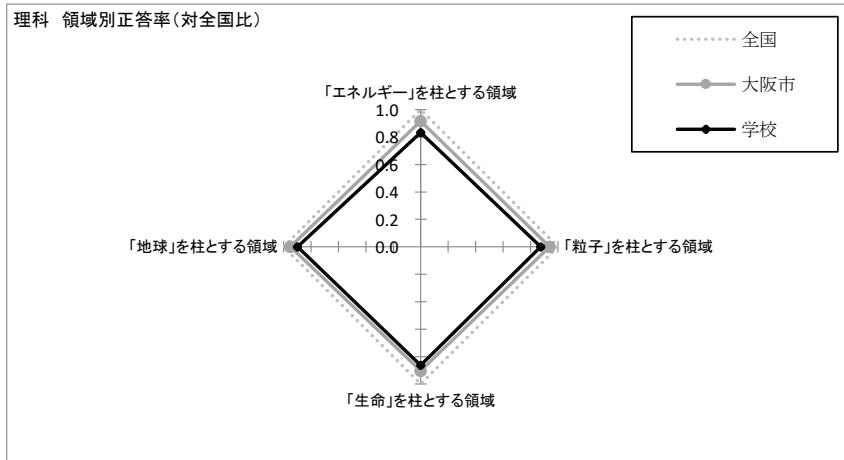
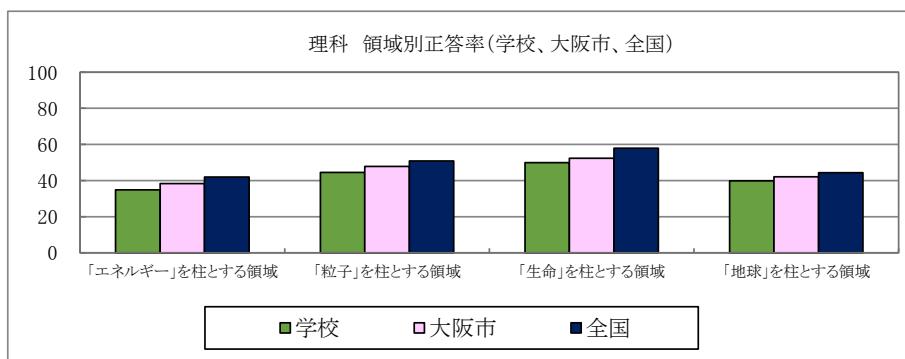


令和4年度 東生野中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を柱とする領域	6	34.9	38.4	41.9
「粒子」を柱とする領域	5	44.5	47.8	50.9
「生命」を柱とする領域	5	50.0	52.3	57.9
「地球」を柱とする領域	6	39.8	42.1	44.3



# 令和4年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

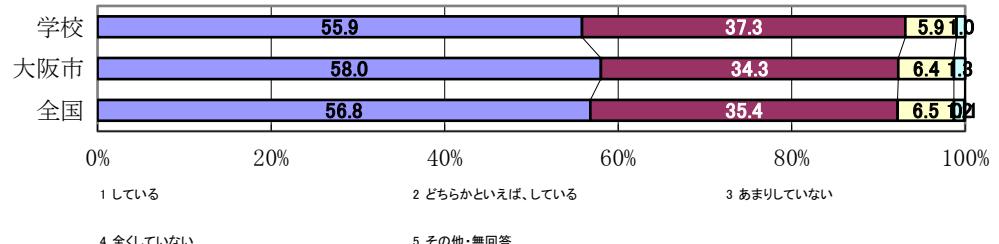
## 生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号  
質問事項

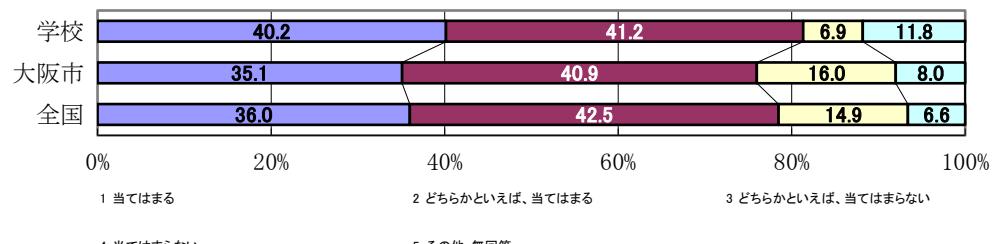
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



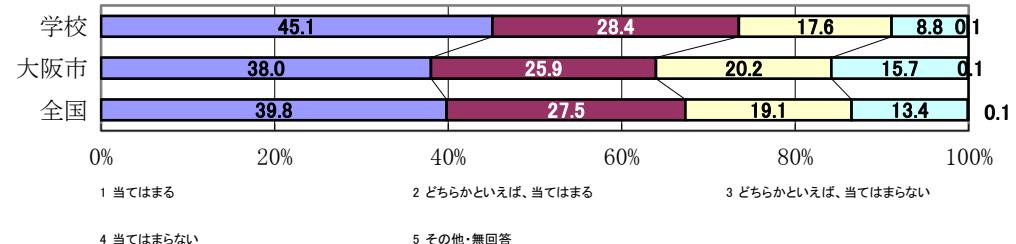
7

自分には、よいところがあると思いますか



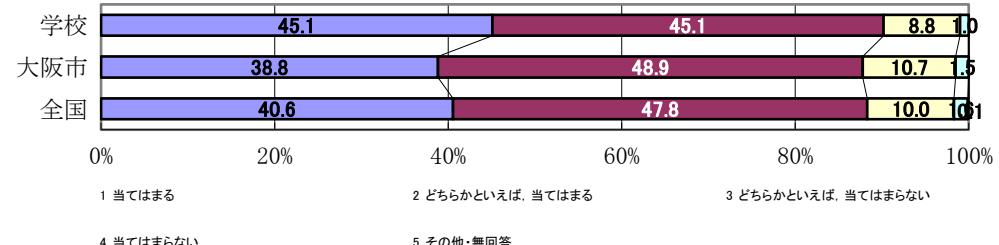
9

将来の夢や目標を持っていますか



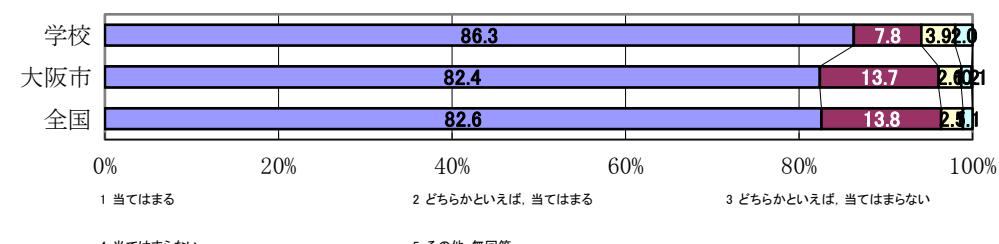
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



# 令和4年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問紙より

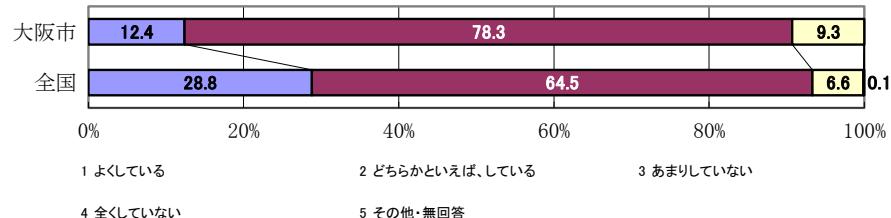
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

17

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

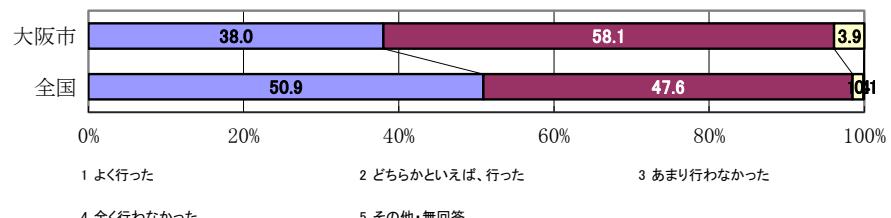
### 学校 「どちらかといえば、している」を選択



8

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

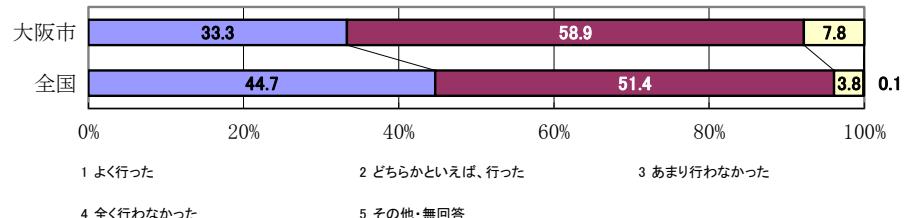
### 学校 「よく行った」を選択



41

調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか

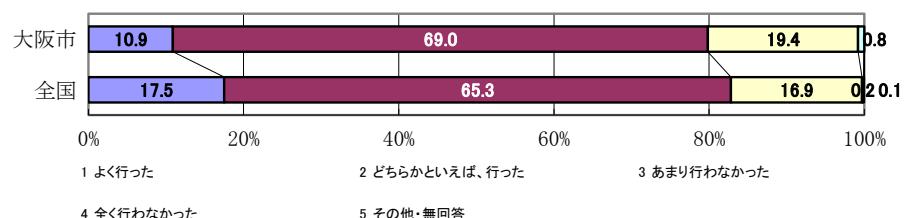
### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



46

調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか

### 学校 「よく行った」を選択



50

調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか

### 学校 「よく行った」を選択

